

## 基礎調査結果(市民・事業者等のアンケート調査結果)

市民や事業者における環境問題への認知度、環境に配慮した行動状況、町田市への要望等を把握するために、アンケート調査を行いました。調査の概要と主要な結果を以下に示します。

表 1 アンケート調査結果 (主要な内容)

区分	市民	事業者	学生
調査概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民基本台帳から無作為抽出した市民 3,000 人に郵送配布</li> <li>回答数 1,156 (回答率 38.5%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商用データベースから無作為抽出した事業者 500 社に郵送配布</li> <li>回答数 103 (回答率 20.6%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜美林大学、和光大学の学生を対象とした Web アンケート</li> <li>回答数 244 名</li> </ul>
認知度	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市の気候の変化を感じている市民は、55.8%の割合を占めている</li> <li>地球温暖化を原因とする異常気象の影響で不安を感じるものは、「洪水、豪雨」が 65.1%と最も高く、次いで、「熱中症や伝染病の拡大」の 54.1%となる</li> <li>関心のある分野は、「エネルギー対策」が 40.9%と最も高く、次いで、「ごみの減量・3Rの推進」が 33.1%となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市の気候の変化を感じている事業者は、54.4%の割合を占めている</li> <li>地球温暖化を原因とする異常気象の影響で不安を感じるものは、「洪水、豪雨」が 76.5%と最も高く、次いで、「熱中症や伝染病の拡大」の 61.8%となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市の気候の変化を感じている学生は、84.0%の割合を占めている</li> <li>地球温暖化を原因とする異常気象の影響で不安を感じるものは、「洪水、豪雨」と「熱中症や伝染病の拡大」がそれぞれ 42.6%で最も高い</li> </ul>
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での環境配慮行動は、「分別して資源とごみを出す」が 97.9%と最も高く、次いで、「白色発泡トレイやペットボトルなどは、リサイクルされるように正しく出す」が 95.2%となる</li> <li>環境配慮行動を行わない理由は、「行動するための時間がない」が 27.7%と最も高く、次いで、「行動による効果が実感できない」が 24.6%となる</li> <li>省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況は、「LED 照明」を利用している人が最も多く、85.2%となっており、次いで、「省エネ型エアコン」を利用している人が 66.1%となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の環境問題との関わり方は、「省エネ行動や廃棄物の削減に努めている」が 63.7%で最も高く、次いで「公害対策に関する法律や条例を遵守している」が 35.3%となる</li> <li>事業者での環境配慮行動は、「事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている」が 94.2%と最も高く、次いで、「廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルにつとめている」が 82.5%となる</li> <li>環境配慮行動を行わない理由は、「事業内容により難しい」が 40.2%で最も高く、次いで、「行動するための時間がない」が 27.2%となる</li> <li>省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況は、「LED 照明」を利用している事業者が最も多く、73.8%となっており、次いで、「省エネ型エアコン」の利用している事業者が 34.3%となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の環境配慮行動は、「分別して資源とごみを出す」が 95.5%と最も高く、次いで、「買い物には、マイバッグ (買い物袋) を持参し、レジ袋や商品の過剰包装は断る」が 88.2%となる</li> <li>環境配慮行動を行わない理由は、「面倒くさい」が 38.1%と最も高く、次いで、「行動するための時間がない」が 36.1%となる</li> </ul>
要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市が力を入れるべき取組は、「地球温暖化対策」が 47.6%と最も高く、次いで、「ごみの減量・資源化」が 42.8%となる</li> <li>町田市に期待する取組は、「水災害対策」が 42.7%と最も高く、次いで、「温室効果ガスを吸収する、みどり、森林の保全・整備」が 40.1%となる</li> </ul> <p>【今後も力を入れていくべき取組】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市が力を入れるべき取組は、「地球温暖化対策」が 50.0%と最も高く、次いで、「ごみの減量・資源化」41.8%となる</li> <li>町田市に期待する取組は、「水災害対策」が 40.8%と最も高く、次いで、「温室効果ガスを吸収する、みどり、森林の保全・整備」が 28.6%となる</li> </ul> <p>【今後も力を入れていくべき取組】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町田市が力を入れるべき取組は、「ごみの減量・資源化」が 41.4%と最も高く、次いで、「地球温暖化対策」が 37.7%となる</li> <li>町田市に期待する取組は、「温室効果ガスを吸収する、みどり、森林の保全・整備」が 45.1%と最も高く、次いで、「省エネ意識や関心を高める取り組み」が 36.1%となる</li> <li>目指すべき二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を排出しない社会は、「今と同じ程度に便利ではあるが、自然との調和と共生を重視した社会」が 66.8%の割合を占める</li> <li>希望する町田市の将来像として「自然が多い」が 54.9%と最も高く、次いで、「まち並みや景観の美しい」が 40.6%となる</li> </ul> <p>【今後も力を入れていくべき取組】</p>